

募集テーマ 困りごとや解決したい課題	クリハラリス及びアライグマの捕獲数の増加に向けた提案、捕獲事業の実施
めざす姿 どういう状態をめざしているか	・近年、藤沢市内では特定外来生物に指定されているクリハラリスやアライグマの生息密度が上昇していると推測されている。 ・これに伴い、市民からの相談件数は年間1,000件を超え、防除対策にかかる費用も増加しており、従来の対策手法だけでは被害への対応が困難になりつつある。 ・そこで、捕獲数増加によりクリハラリスとアライグマの分布域縮小・個体数減少をめざすため、捕獲檻の設置数の増加、担い手の確保など、捕獲数の増加に繋がる取り組みのアイデアや実施協力者を広く募集したい。
これまでの取組 何を実施してきたか	・生活被害のある市民へ捕獲檻の貸出し ・緑地等においてクリハラリス及びアライグマの捕獲業務委託を実施 ・通信機能付きセンサーカメラを設置し、捕獲状況の確認を実施
民間事業者等のノウハウが活用できると考えている点	・捕獲数の増加に向けた民間の知見や手法の活用 ・捕獲業務の実施
テーマに関する民間事業者等との取組の有無	行っている さらに解決したい困りごと ・市民への捕獲檻を貸出しし、檻の見回りなどの檻の管理は市民に行ってもらっているが、檻の管理ができない場合は、檻の貸出しができないこと。 ・緑地等においてクリハラリスとアライグマの捕獲業務委託を実施しているが、檻の設置場所が限られていること。 ・見回りの効率化に向け、SIMカードを使用した通信機能付きのセンサーカメラを設置し、リアルタイムで捕獲状況を確認しているが、設置台数に限りがあること。 ・検証を行った捕獲感知システムは、大型動物の捕獲の感知に適したものであったため、クリハラリス用の捕獲檻では上手く検知できなかったり、センサーが誤作動したりする場合があること。
募集対象	・解決等に向けて一緒に取り組む提案と実施者を探したい ・解決等に向けた取組のアイデアが欲しい
希望する提案のイメージ	捕獲数が増加できるような手法の提案 (例：事業者による捕獲の取り組みへの参加、など)
募集期間	2027年（令和9年）3月末日まで
実施希望時期	2027年（令和9年）3月末日まで
提案の選定方法（選定の有無）	☒特に選定をしない（提案内容が妥当であれば採用数を絞り込まない） ☐審査等による選定等を実施（提案内容等を審査・選定し採用数を絞り込む） ☐提案を参考に、あらためて実施事業者の公募等を実施 ☐その他（ ）
藤沢市の提供できるリソース	・捕獲情報 ・捕獲檻 など
予算措置の可能性	有
テーマに関する参考情報等	【藤沢市環境保全課ホームページ】 ・野生鳥獣による生活被害について https://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/khozen/machizukuri/kankyo/shizenhogo/yaseityouzyuniyoruseikatsuhigainitsuite.html ・捕獲檻の貸出しについて https://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/khozen/machizukuri/kankyo/shizenhogo/hokakuorinokashidashi.html
担当課	環境保全課